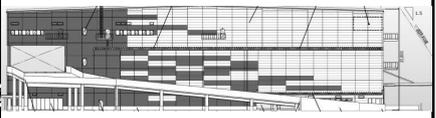


# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	枚方高野道再開発プロジェクト枚方	階数	地上3F
建設地	大阪府枚方市高野道	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年10月 予定	評価の実施日	2026年2月4日
敷地面積	25,544 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社 一級
建築面積	12,074 m <sup>2</sup>	確認日	2026年2月4日
延床面積	28,877 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社 一級建築士事務所 杉本陽



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.8

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地内に空き地を設け空地率は50%以上を確保し風の通り道を確保している。隣地境界部に緑地帯を設けるなど周辺環境に配慮している。建物利用者の為の駐輪、駐車場を確保している。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 事務所部分の床・天井に吸音材を使用する等、室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 事務所の天井高2.7m以上を確保し、執務者が、十分な屋外の情報を得られるように窓を設置している。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を設けることにより地表面温度の上昇を抑制している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害ガイドラインのチェックリストの過半を満たしている
<b>LR1 エネルギー</b> 太陽光パネルやLED照明の設置をしている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> OAフロア等再利用できるユニット部材を用いている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	枚方高野道再開発プロジェクト						
建設地	大阪府枚方市高野道						
用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	断熱性能					5	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					5	
		<small>建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル</small>	<small>住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分</small>	評価対象外		評価対象外	
		<small>非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分</small>				6	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善					3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							